

### 第3章－2 快適な空気をつくる・・・ダイキンの取り組みとは？

私にとって「ダイキン」というと、業務用エアコンの会社というイメージが強いですね。ところが、東上線の電車内広告のキャッチコピーは、「空気で答えを出す会社」。日本だけでなく世界中の人々の「不快」という課題を解決しようと、ダイキンは果敢にチャレンジしているそうです。いったい、どのようにチャレンジしているのでしょうか？ みんなと一緒に学んでいきたいと思います。

- \* 両面刷りで印刷し、左端2ヶ所をホチキス留めしてください。
  - ・ モノクロ印刷でOKです。
  - ・ ロイロノートに読み込んで利用することも可能です。
- \* 指示があってから解答を始めてください。・・・勝手に先に進まないこと
- \* 解答は指示がない限り各ページ下の余白部に書き込んでください。
- \* 下の教科書の関連ページ、予習用課題の解答の前にさらっと一読してください。

- 教科書 p.60～67
- 資料集 p.40～47
- 第3章の情報

[https://seifu.sakura.ne.jp/kawako/2025/chirisou/#dai\\_3shou](https://seifu.sakura.ne.jp/kawako/2025/chirisou/#dai_3shou)



(県立川越高校で使用している教材)

帝国書院：高等学校 新地理総合

帝国書院：新詳高等地図

帝国書院：新詳地理資料 COMPLETE 2025

1節 気候について考えよう・・・気候要素と気候因子

2節 大気の大循環と気候区分について考えよう

生徒：1節の学習で、緯度は最も重要な気候因子で、五つの気候帯は赤道から極に向かって熱帯→乾燥帯→温帯→冷帯（亜寒帯）→寒帯と分布することは学習しました…。

先生：納得できないことがあるようですね。

生徒：熱帯の次が乾燥帯っていう並びがどうしてもわからないんです！

先生：なるほど…。これは大気の大循環という地球規模の大気の流れを理解することが必要ですね。

問1 教科書 p.62 「1 大気大循環の模式図」を見ながら考えよう。この図は、春分・秋分の時点における大気の大循環をイメージした模式図です。

- (i) 赤道付近では、南中高度が 90 度になるので、空気が暖められるので ( a ) が発生して気圧は ( b ) になります。
- (ii) 赤道付近で発生した上昇気流は、( a ) と成層圏の境界に達すると高緯度側に移動し、緯度 30 度付近に ( b ) します。そのため、下降気流がみられる緯度 30 度付近の気圧は ( c ) になります。
- (iii) 風は気圧の ( a ) 方から ( b ) 方に向かって吹くので、低緯度側に吹き出す風を ( c ) といい、高緯度側に吹き出す風を ( d ) といいます。
- (iv) 先ほどの (ii) で答えたように、緯度 30 度付近には ( a ) が形成されます。これを ( b ) といいます。天気予報でもわかるように、( a ) に覆われると、雨は ( c ) 。
- (v) 緯度 30 度付近に注目すると、大きな砂漠があることに気づきます。地図帳 p.193～4 の「① 世界の地形」を見ると、アフリカには ( a ) 砂漠、アラビア半島には ( b ) 砂漠 ( b )、オーストラリア大陸には ( c ) 砂漠があります。

生徒：先ほどの問1の学習を通じて、同じような気候の特徴をもった地域は規則的に分布するのではないかと思うんですが…。

先生：いいところに気づきましたね。ドイツの気候学者ケッペン（1846～1940）は、気候が植生に与える影響に着目し、植生の分布を基準に世界の気候を区分しました。

生徒：ケッペンの気候区分について、詳しく勉強していきたいと思います！

問2 教科書 p.64 「植生と気候」を読んで考えよう。

- (i) 植生とは、ある地域を覆っている（ ）のことをいいます。
- (ii) 一年中気温が高く、雨の多い熱帯地域では（ a ）という うっそうとした森林がみられます。また、同じ熱帯でも雨季と乾季がはっきりしている地域には、（ b ）という まばらに生えている木と草原からなる植生が見られます。
- (iii) 乾燥気候の地域にみられる草原を（ a ）といいます。乾燥気候の地域でも、とくに降水量が少ない地域では植物はほとんど生えなくなり、（ b ）になります。
- (iv) 亜寒帯の地域には、針葉樹林が密集して生える（ a ）という森林がみられます。気温がより下がると、もう樹木は育ちません。短い夏の間だけコケ類などからなる（ b ）がみられます。

問3 教科書 p.65 「**3** ケッペンの気候区分図」と「**4** ケッペンの気候区分の指標」を見て考えよう。

- (i) ケッペンは、世界の気候を（ a ）と（ b ）に分けました。
- (ii) 樹林のある気候（樹林気候）は、三つの気候帯に分けました。（ a ）、（ b ）、（ c ）です。…ローマ字の大文字で答えてください。
- (iii) 樹林のない気候（無樹林気候）は、二つの気候帯に分けました。（ a ）と（ b ）です。…ローマ字の大文字で答えてください。
- (iv) 樹林気候のうち、はっきりとした雨季と乾季がないときは（ a ）を割り振りました。雨季と乾季がはっきりしているときは、乾季が夏のときには（ b ）を、乾季が冬のときには（ c ）を割り振りました。…ローマ字の小文字で答えてください。
- (v) 無樹林気候になる理由として、乾燥と寒冷があります。樹林が形成されるための最低限の降水量（乾燥限界）未満の気候帯には（ a ）を、気温があまりにも低くて樹林が形成されない気候帯には（ b ）を割り振りました。…ローマ字の大文字で答えてください。
- (vi) 東京の気候区をローマ字の組み合わせで答えると（ a ）です。東京と同じ気候区は、緯度 30～40 度の大陸の（東岸・西岸）に分布していることがわかります。